



株式会社 昭和真空

第55期

第2四半期報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日



証券コード：6384

One vanguard of the digital revolution



「光と電波」情報通信・デジタル家電を支える昭和真空

トップメッセージ

厳しい環境が続くものの、黒字を確保しました。



代表取締役社長

小俣邦正

Kunimasa Omata

コストダウン効果や固定費削減により利益率は改善しました。

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等に支えられる形で回復基調にありましたが、欧州の債務・金融危機や中国経済の減速、円高の定着等により足踏み状態となっており、厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、総じて弱含みで推移いたしました。スマートフォンに代表される高機能携帯端末市場が弊社グループの主要な取引先である水晶、電子、光学などの各デバイス業界を下支えしているものの、全体としては最終製品価格の下落や長期化する円高、先行きの不透明感等から、設備投資に対する姿勢は慎重なまま推移しました。特に国内の増産設備投資については非常に厳しい状況となりました。

こうした環境の中、当社グループでは、厳しい環境下でも好調な市場を捉え、中国、台湾を中心としたアジア市場に対し拡販に注力してまいりましたが、厳しい状況が続きました。

生産面では、在庫部品の積極活用や上海子会社における生

産比率を高めるなどして、原価低減を推進してまいりました。

損益面では、売上高は前期に受注済みの案件が概ね順調に推移しましたが、当第2四半期連結累計期間における受注が厳しい状況で推移したため、当初計画を下回りました。一方で、上海子会社への生産シフトをはじめとする、当社グループ丸となって推進しているコストダウン効果や固定費削減の地道な積み重ねにより利益率は改善いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高23億55百万円（前年同期比28.0%減）、売上高36億43百万円（同7.8%増）となりました。

損益につきましては、経常利益25百万円（前年同期は42百万円の経常損失）、四半期純利益30百万円（前年同期は22百万円の四半期純損失）となりました。

受注状況は厳しいものの、パーツ販売などのサービス事業についても積極的に取り組みました。

真空技術応用装置事業の業績につきましては、売上高は概ね順調に推移いたしました。設備投資への動きが引き続き慎重であったこともあり、受注は厳しい状況となりました。受注高は18億45百万円（前年同期比34.2%減）、売上高は31

億33百万円(同7.6%増)、セグメント利益は3億4百万円(同1.2%減)となりました。

水晶デバイス業界では、最新装置の拡販に注力してまいりましたが、受注は厳しい状況となりました。水晶デバイス装置の受注高は6億26百万円(同54.7%減)、売上高は11億14百万円(同8.7%増)となりました。

光学業界では、中国、台湾を中心としたアジア市場に対して、上海子会社で生産した価格競争力のある装置の拡販に積極的に取り組んでまいりました。光学装置の受注高は7億49百万円(同60.1%増)、売上高は17億77百万円(同47.2%増)となりました。

電子部品装置・その他装置の受注高は4億69百万円(同50.6%減)、売上高は2億41百万円(同64.4%減)となりました。

サービス事業につきましては、上海子会社を中心に、修理、改造、パーツ販売に積極的に取り組んでまいりました。また、株式会社エフ・イー・シーが製造・販売するマグトラン(歯のな

い歯車)も拡販に努めてまいりました。しかしながら、修繕、改造については引き合いはあるものの正式発注に対しては慎重な動きであり、また、パーツ販売は一定量の注文はあるものの全体を押し上げるまでには至りませんでした。

この結果、売上高は5億10百万円(同8.7%増)、セグメント利益は74百万円(同2.3%減)となりました。

今後も安定した利益還元を目指してまいります。

当社は、株主様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。業績の伸長度に応じた安定的な経営基盤の確保および財務体質の健全性の維持を勘案しつつ、安定した利益還元を継続的に実施していくことを基本方針としております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

製品紹介

ロードロック式周波数調整装置
SFE-B03



省スペース、高精度、低価格を実現し、本機1台で250万個/月産が可能なモデルです(SMD3.2×2.5、24MHz、H1000ppm/s L50ppm/sの場合)。FL(負荷容量自動演算モード)を搭載。イオンガン本体、コンタクト機構のメンテナンス性が大幅に向上、微小ワークに対応した高精度な機構、2室ロードロック方式採用により処理室は常時真空中に保持され、タクトタイムが真空排気およびリークに依存しない、100mmワイドビーム新型イオンガン搭載、などの特徴をもった装置です。

ロードロック式パタリング装置
SPH-2500-II



外形は奥行1200×幅2500×高さ1440で、設置面積はそのままに大幅に低背化を実現。膜厚分布はトレー内±1.2%、トレー間±1.5%を達成、カソードを改良することによりターゲット使用効率が44%まで大幅に向上、ラック&オピニオン方式採用による、ローラーの滑りなどによる搬送不具合の解消、警報発生時のトラブルシューティングの画面表示や各トレーにレシビ設定が可能で、10レイヤー/トレーまで成膜が可能など、操作性が向上した装置です。

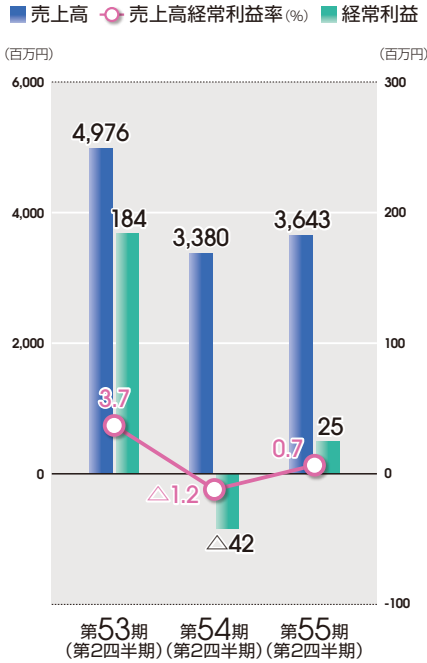
超高性能光学薄膜用蒸着装置
SGC-S1300(Sapio1300)



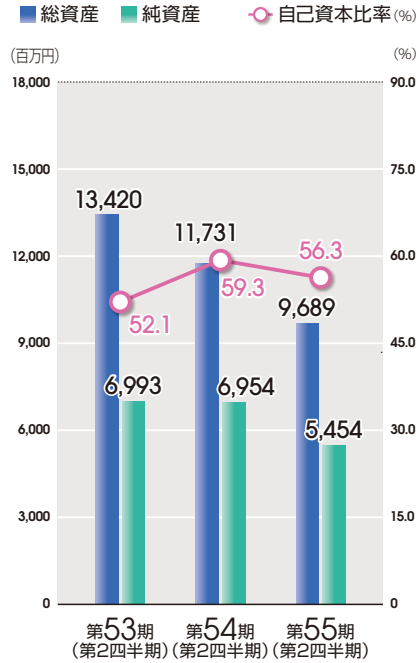
新開発のファイバー式光学モニターの採用や、安定した温度制御が可能な80点モニターガラス機構の搭載により、設計どおりの特性が得られる高精度を実現。徹底した放出ガス対策による安定した膜質、排気系の乱流対策、蒸着源近傍の防汚対策・電子銃のチューニングによる低パーティクルの実現、専用設計した高出力RFイオンソースを搭載することにより、多層光学フィルターから樹脂フィルムまで、幅広く高品質化が可能となるなどの特徴をもった装置です。

コストダウン効果や固定費削減の地道な積み重ねにより利益率が改善しました。

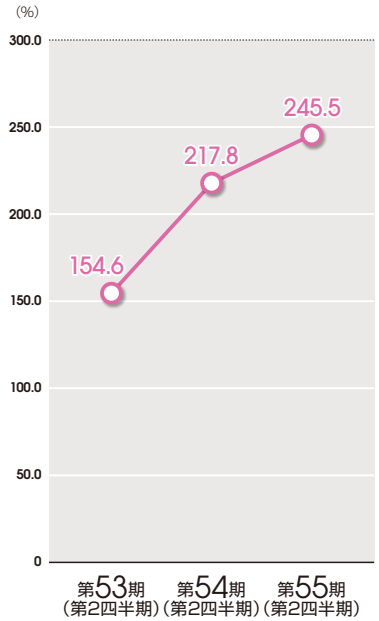
売上高・経常利益・売上高経常利益率



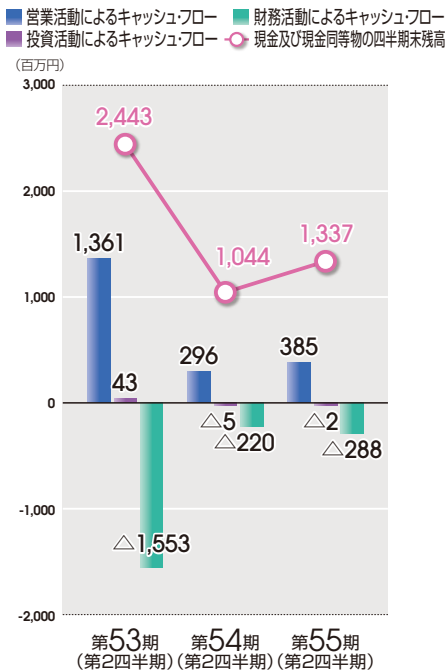
総資産・純資産・自己資本比率



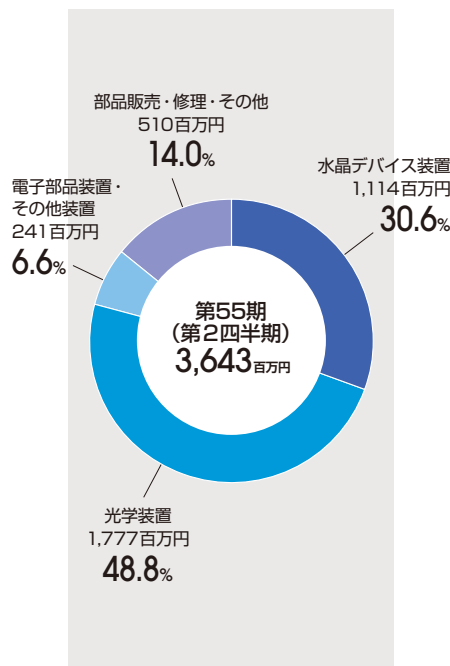
流動比率



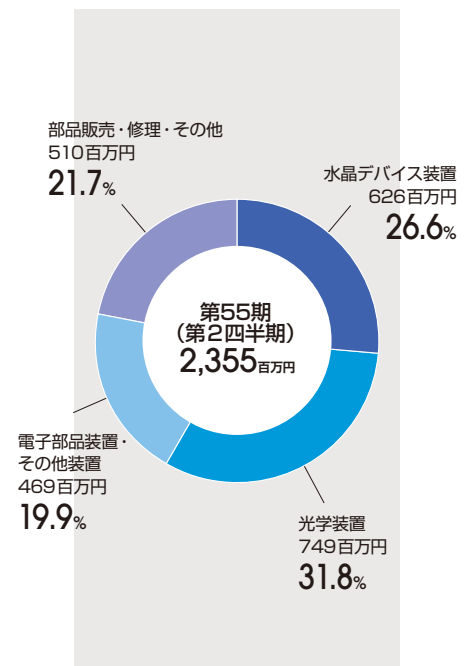
キャッシュ・フロー



品目別売上高構占比



品目別受注高構占比

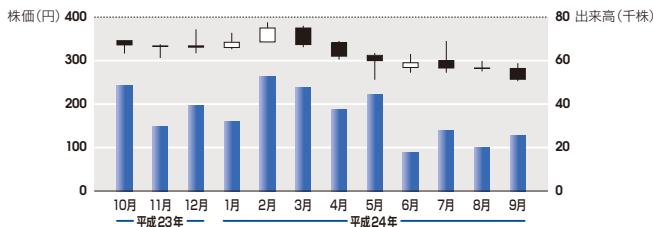


株式の状況

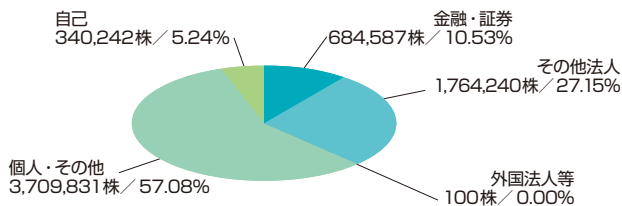
発行可能株式総数 13,800,000株
 発行済株式の総数 6,499,000株
 株主数 2,664名

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社アルバック	1,329,500	21.59
小侯邦正	567,600	9.21
有限会社小侯興産	381,440	6.19
株式会社昭和真空	340,242	—
昭和真空従業員持株会	293,252	4.76
株式会社三菱東京UFJ銀行	236,400	3.83
日本生命保険相互会社	144,000	2.33
小侯佳子	120,000	1.94
小侯輝明	120,000	1.94
小侯みつこ	120,000	1.94
株式会社みずほ銀行	96,000	1.55
株式会社横浜銀行	96,000	1.55

株価および売買高の推移(月次)



所有者別株式状況(株式数)



株主メモ

株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同送付先・連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
 野村證券株式会社 全国本支店
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
 基準日 3月31日
 その他必要がある時は、取締役会の決議をもって予め公告いたします。
 配当金受領株主確定日 3月31日および中間配当金の支払を行う時は9月30日
 公告掲載方法 電子公告により行う。やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は日本経済新聞に掲載する。
 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

IRカレンダー(平成24年10月~平成25年9月)

11月 第55期 第2四半期決算発表・決算説明会	6月 第55回 定時株主総会 経営報告会
2月 第55期 第3四半期決算発表	有価証券報告書提出
3月 31日 第55期 決算日	8月 第56期 第1四半期決算発表
5月 第55期 決算発表・決算説明会	9月 30日 第56期 第2四半期 決算日

会社の概要

商号 株式会社昭和真空
 設立 1958年(昭和33年)
 資本金 2,177,105,200円
 従業員数 189名
 営業種目 水晶デバイス用、光学薄膜用、電子デバイス用などの総合的な真空関連装置並びに真空機器等
 真空蒸着装置、スパッタリング装置、イオンエッチング装置、イオンプレーティング装置、ドライエッチング・アッシング装置、真空冶金(溶解、熱処理、焼結、脱ガス)装置、光学薄膜用モニター(多色式、単色式)、IAD冷陰極イオンソース、液晶注入装置、有機EL用蒸着装置、その他
 取引金融機関 三菱東京UFJ銀行、横浜銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、八千代銀行、山梨中央銀行、城南信用金庫

事業所

本社・相模原工場
 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062番地10
 TEL. 042-764-0321 / FAX. 042-764-0329
 大野台パーツセンター
 〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台二丁目27番2号

役員

代表取締役社長	小侯 邦正	取締役	山元 正年
執行役員	坂地 藤五郎	監査役	村岡 眞史
専務取締役執行役員	市川 正	監査役	千葉 睿一
取締役執行役員	高橋 理	監査役	中村 孝男
取締役執行役員	久島 博美		
取締役執行役員	田中 彰一		

グループ会社および関係会社

[グループ会社]

- 昭和真空機械(上海)有限公司
 - 所在 中国上海市
 - 主な事業内容 当社装置の生産
- 昭和真空機械貿易(上海)有限公司
 - 所在 中国上海市
 - 主な事業内容 当社装置・部品の販売、サービス・メンテナンス
- 株式会社エフ・イー・シー
 - 所在 埼玉県狭山市
 - 主な事業内容 マグトラン(歯のない歯車)の製造・販売

[関係会社]

- Sansei-Showa Co., Ltd. USA
 - 所在 米国オハイオ州

ホームページのご紹介

トップページ

「株主・投資家の皆様へ」トップページ



<http://www.showashinku.co.jp/>
 ホームページでさまざまな情報をご覧ください。



<http://www.showashinku.co.jp/ir/>
 株主の皆様へ有益なIR情報はこちらをご覧ください。



ULVACGROUP

株式会社 昭和真空

本社・相模原工場

〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062-10
 TEL. 042-764-0321 FAX. 042-764-0329
 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

(証券コード: 6384)